

# 特搜!!

## “履修登録単位上限設定”

編入学及び転学部した学生は、履修科目登録単位数の

して登録できる単位数は、24単位を上限とする。ただ  
及び同和教育の授業科目を除く。

位を優れた成績をもって修得した学生（以下「成績優

平成14年度学生便覧より

皆さんはご存知だろうか？総  
合科学部平成14年度入学生には  
登録単位数に上限が設定されてい  
る。つまり、今まではいくつも  
授業を登録することができてい  
たのが、平成14年度入学生から  
は24単位までしか登録できなくな  
っている。

この登録単位数上限設定はなぜ  
始まったのか。プログラム委員  
長の田中暁先生のお話を交えて  
迫ってみる。

どうして履修登録単位に上限を設定したのですか？

登録単位に上限を設定し、しっかり勉強してもらおう主旨は、「消化不良のないように」ということなんです。大学審議会という文部科学省の諮問機関が、21世紀に向けての大学像としては、「入るのは難しいが、入ってからはあまり勉強しない」というのではいけないということになったんですよ。

そもそも1単位の基準は、授業15時間に予習復習30時間の合わせて45時間で1単位なんです。これは大学設置基準というもので決められているんですね。

文部省の法律に上限設定が加えられたのを受けて、広島大学に検討委員会が設置されました。時間をかけて審議した結果、大学の規則に上限を設定することが決められました。その後、各学部で検討を重ね、総合科学部では今年から導入されることになりました。

確かに、たくさん授業に履修登録をしても単位を取りきれない、消化不良」を起している学生もいる。

しかし、この原因が、大学審議会の指摘するように「入ってからはあまり勉強しない」学生にあるのであれば、履修登録単位に制限を設けることは果たして有効なのだろうか。たくさん授業を受講しているも、ちゃんと単位を取れている学生がいるのも事実である。

ただ、本来の1単位の基準を再確認するという点で、予習復習のできる範囲の履修登録制限は十分意味があるだろう。

24単位というのには何か規程があったのですか？

試験的に統計を取ってみたら、平均が22単位ぐらいだったんですよ。それにゆとりを持たせて24単位に決めました。しかし、集中講義や教職に関する講義、インターンシップの単位は別に取ってもかまいません。登録単位上限設定は、学年末の成績で優が7割以上あれば次の学年では解除されます。しかし、次の学年での成績があまり良くなければ、その次の学年で再び制限されるようになります。四年生になると制限はなくなります。つまり、成績によって制限

が解除されるのは、2セメ後と4セメ後の2回です。

卒業要件単位は18単位なので、各セメスターで24単位ずつ確実に取っていれば、3年間で十分に到達できるようなっています。さらに、四年生になると制限が解除されるので、普通に授業を受けていけば、この上限設定によって卒業単位が揃わないということはないだろう。

しかし、平均が22単位だったとしても、それはあくまで平均であるから、当然22単位より多く取っている人もいます。ゆとりとしては2単位という幅は、十分だと言えるのだろうか。一年生の中には、制限単位以上の講義を、単位不要で登録している人もいます。

他学部でも上限設定をしているところはないのですか？

他学部でも上限設定をしているところはありません。今の段階で制限をしていなくても、大学の規則で決まっているので、順次全学部で適用されるでしょう。

総合科学部の制限は、他学部と比べると決まっていますが設定にしてあるようになっています。

他学部での上限設定は、左の表のようになっています。

教育学部では、教職に関する講義の関係で、履修登録単位に上限は設定されていません。

文学部や法学部では、総合科学部同様、24単位までになっている。優秀者に対しては、総合科学部の場合には上限がなくなるの

学部	セメスター	年間	優秀者
教育学部			
文学部	24		36
法学部	24		28
経済学部(昼)		40	
経済学部(夜)		44	
理学部	24	48	
工学部			
生物生産学部	25	50	上限なし
総合科学部	24		上限なし

に対し、文学部は36単位、法学部は28単位までで、上限がなくなることはないようだ。経済学部では、セメスターの設定はされておらず、1年間の登録単位に上限が設定されている。

理学部や生物生産学部では、セメスターと年間の両方に上限がある。理学部の場合、前期は24単位以内でしか登録できないが、それ以下の単位しか登録していなかった場合は、後期では48単位から前期に登録した単位数を引いただけ登録できる。例えば、前期で20単位登録していた人は、後期では28単位まで登録できる、ということらしい。工学部では、今のところ登録単位に上限は設定されていないようだ。

以上のことからわかるように、確かに総合科学部の制限は、他学部と比べると決まっていますが設定してあるようだ。

この制度についてどう思いますか？

授業を多く取りすぎて消化不良になっている人に対して、有効なんじゃないでしょうか。少なめでいいから、取った授業はしっかりと勉強して習得して欲しいですね。

### 取材を終えて

履修登録単位に上限を設定することは、単位の本来の定義を再確認し、授業の「消化不良」をなくすための有効な方法だと思ふ。しかし、授業を「消化」しきれない学生にとっては、上限が設定されているために受講したい授業に登録できないということも考えられる。

年間を通じての成績優秀者は次の学年は制限が解除されるのであれば、最初の一年から上限を設定する必要があるのだろうか。最初の一年は猶予期間として、次の学年からは成績優秀者は制限なしで、それ以外の人には登録単位を設定するというのもいいのではないだろうか。

ただ、登録単位に上限が設定されるようになったのは、学生があまり勉強しないことが原因であるということを忘れてはいけない。今の制度では、成績優秀者には次の学年では制限がかけられないことになっている。多くの人が確実に授業を「消化」し、単位を取得したならば、上限が設定される必要がなくなるかもしれない。



は、病室で大好きなモンゴルの歌、中国の歌、そして日本の歌を歌った。翌日、手術室に向かう彼女の姿を、崔先生の奥さん、ゼミの仲間達10人が見守っていた。「今日がみんなに会える最後の日になりませんように！」彼女の願いはただそれだけだった。

### みんなのおかげです

約30時間後、長い沈黙が破られた。「手術は成功しました。」という医者の言葉に、周囲から歓声があがった。待合室で待っていた人すべてが、手術の間中立ったままであった。「自分が今ここにいるのは、みんなの支えがあったからだと思います。」振り返りながら、彼女は言った。幸いにも、後遺症は残らなかった。

そして、7月9日。彼女は再び大学の研究室のドアを開いた。ドアの向こうには、彼女を支え、そして帰りを待っていた崔先生、ゼミの仲間達がいた。「学校に戻ることは、最初、私にとっては叶うはずのない夢だと思っていました。でも、みんなのおかげで、こ

やって夢から現実になりました。」彼女は、目に涙をためながら言った。

### 取材を終えて

中国から留学し、日本という異国の地で病気がかかったオンドロナさん。彼女の不安、苦しみは私たちには計り知れないほど大きなものであっただろう。しかし、その不安と闘いそれを克服した彼女と、彼女を支えた周囲の暖かい思いやり。私はそこに人間の強さと人の輪の大切さを感じた。人と人が互いに思いやることは、国の違いなど関係はない、ただ、同じ仲間としてあたりまえのことなのだ。そう思った。



▲左から3番目がオンドロナさん、中央崔吉城先生、その他ゼミ生

(取材) 近藤由紀  
筒井志歩

# 思いやりは国を超えて

現在、広島大学には、六百名以上の留学生が在籍している。そのうちのひとりである中国(内モンゴル自治区)からの留学生、オンドロナさんが重い病気を患った。彼女は苦しい闘病生活を仲間達と共に乗り越え、無事復学した。今回は、その出来事を紹介したいと思う。

### 修士論文作成中の大手術

2002年の5月13日、広島大学付属病院で直径5センチにもなる脳腫瘍を摘出するという大手術が行われた。その手術を受けたのは、広島大学大学院国際協力研究科(以下IDIC)に中国(内モンゴル自治区)から留学している温都日娜(オンドロナ)さん。彼女は、講座メンバーが全員総合科学部の教官からなるアジア文化講座に所属し、特に崔吉城先生のもとで、修士論文作成中だった。

### 集められた募金

—大勢の温かい心に支えられて—

「病気を知った時は、もう終わりだ、そう思いました」と彼女が後に振り返るように、成功率は20、30%という非常に危険な手術であった。手術が成功したとしても、確実に後遺症が残ると医者から言われていた。手術が行われるまでの間、同じゼミで中国から留学している張愛花さん、孫蓮花さんや韓国、モンゴル、バングラデシュそして日本の友人達が彼女を励ましに訪れていた。また、IDICで集められた募金も職員の方によって届けられた。「みんなの温かい心に支えられて、しばらくの間手術に対する不安を忘れることができました。」

### 高まる不安

しかし、手術が近づくにつれ、不安は消し去ることができなくなってきたという。手術の前日、彼女は看護婦に歌を歌う許可を求めた。手術後、神経に障害が起こって、声が変わる可能性があると言告されていたからだ。彼女



# 平成13年度卒業論文題目紹介

## 人間文化コース

- 佐藤行孝 広告表現と情報受容  
尾形太郎 ジョルジュ・バタイユの思想  
— 消尽・死・コミュニケーション—  
佐藤志孝子 M・デュシャンの芸術  
松村丞治 沖縄における基地問題を考える  
山中広平 村上龍論  
来田勇樹 速度と可能性  
— テクノロジーについての試論—  
— ル・ヴィトリオを手掛かりに—  
大空浩論  
— 戦中の作品を中心として—  
町田屋亜美 ココ・シャネルとヘモトへの愛容  
— ココ・シャネルとヘモトへの愛容—

## 地域文化コース

- 岡田 崇 セレクトショップの経営戦略と店舗展開  
小坂 森 芥川龍之介と芸術  
立花由香 米国におけるベトナム難民の研究  
— 定住問題を中心として—  
中山和美 地方行政改革と市町村合併  
— 地方が人間関係にもたらすもの—  
中島道子 — フランスのクリスマスより—  
濱口郁史 神戸市復興における安全コンセプト  
浅野美津穂 四国地域における広域観光の考察  
— 広域観光推進組織の取り組みを中心—  
ワシントン条約廃棄と日本海軍  
近代日本における保育のはじまり

## 社会科学コース

- 栗原路子 犯罪被害者保護法についての一考察  
津葉井崇晴 「都市と農村の交流」による地域おこし  
有田夏子 — 島根県邑智郡を事例として—  
— ウズベキスタン・カリモフ政権の外交—  
— 中央アジア地域統合の試み—  
— 注目—  
大久保美紀 地域住民のためには、美しい都市の水辺について  
— 太田川と瀬野川を事例として—  
大島和歌子 ハルトド政権下のインドネシアにみ  
— られる国民統合とバンドチャシラ思想—  
— 対人地雷全面禁止条約締結過程（オ  
— タワ・プロセス）についての考察—  
— ミドルパワー、カナダの動  
— きを中心—  
「冷戦後のアメリカ安全保障政策の姿容

## 外国語コース

- 谷口武志 日本におけるカジノ合法化の可能性  
— 沖縄の持続的發展—  
玉城真吾 日本における電子商取引の現状と展望  
— 地球温暖化対策の経済分析—  
— 運輸部門に対する炭素税の効果—  
— 中山間地域における地域住民活動の可能性—  
— 神石町水野地区における「地  
— 域支援センター」活動の事例—  
— プロスポーツリーグとチームの収支分析—  
— 過疎地域の公共事業に関する一考察—  
— 川辺川ダム建設事業に注目して、  
— 高齢者生活のリスク管理—  
— 都市における「モノづくり」技術  
— 基盤と内発的發展—  
— 日本における天然ガス利用の可能性と限  
— 津岸危機における日本の政策過程—  
— 小沢一郎を中心—

## 外国語コース

- 赤田 哲 Strategies of queer discourse in  
contemporary music  
— 現代西洋音楽におけるホモセクシヤ

## 卒論題目

- 今村佳寿子  
梅川章子

- 倉本貴人

- 阪本淳子

- 対中国政策を中心として—  
— 日本の環境ODAに関する一考察—  
— タインネシア環境管理セン  
— ターの評価を事例として—  
— バングラデシュの貧困問題の推移と課題  
— 日本の常任理事国入りをめぐる国際関係  
— ラサライを中心—  
— 自動車排出ガス削減への取り組みに  
— ついての一考察—  
— ユーゴ空爆におけるメディア報道の考察  
— KLA通信社コソバプレス  
— の影響力に注目して—  
— 日本におけるカジノ合法化の可能性  
— 沖縄の持続的發展—  
— 日本における電子商取引の現状と展望  
— 地球温暖化対策の経済分析—  
— 運輸部門に対する炭素税の効果—  
— 中山間地域における地域住民活動の可能性—  
— 神石町水野地区における「地  
— 域支援センター」活動の事例—  
— プロスポーツリーグとチームの収支分析—  
— 過疎地域の公共事業に関する一考察—  
— 川辺川ダム建設事業に注目して、  
— 高齢者生活のリスク管理—  
— 都市における「モノづくり」技術  
— 基盤と内発的發展—  
— 日本における天然ガス利用の可能性と限  
— 津岸危機における日本の政策過程—  
— 小沢一郎を中心—

## 外国語コース

- 赤田 哲 Strategies of queer discourse in  
contemporary music  
— 現代西洋音楽におけるホモセクシヤ

- 坂本 聡

リナーがどのように描写されたか、また  
表現されているかについての研究  
「A Long Way to Koshin: A Comparative  
Study of Amateurism in Modern  
British Sports, the Modern Olympics  
and Japanese High School Baseball  
(甲子園)の長き道のり—現代イキ  
リススポーツと近代オリンピック、  
そして高校野球におけるアマチュア  
リズムの比較研究—  
Geschichte und Gegenwart der  
Sprechemotivation in Deutschland  
und Japan  
(日本・ドイツにおける外国語学習  
動機)の比較—  
中国広告コピーの修辞学  
— 中国語における親族呼称の社会化につ  
— いて—  
— 日本語との比較を通して—  
— 複合方向補語文における目的語の位  
— 置について—  
The Moon Laughs: The Translation  
Problems in Abe Kobo's Short Text  
(月が笑う—安部公房の掌櫃テクニ  
クにおける翻訳問題—)  
現代まで生み出されるホーモン夫人  
— の「美女と野獣」  
The comparison of Japanese and  
English catch phrases in advertising  
(日本語・英語キャッチフレーズに  
— における比較—  
— 日中間のビジネス交渉について—  
— 「来」のモダリティ機能  
The Multilingual Situation in the  
U.S. and Japan: From the Viewpoint

- 荒巻優二

of Language Policy  
(アメリカ合衆国日本における多  
言語状況言語政策の観点から)  
ハンス・カロッサの人間観  
— 「ルーテイン日記」における生死—  
— A COMPARATIVE ANALYSIS OF  
— JAPANESE SUPERIMPOSITION AND  
— DUBBING OF THE WONDERFUL  
— WIZARD OF OZ  
— (オズの魔法使いの日本語字幕と吹  
— 替音の比較分析—  
— A COMPARATIVE STUDY OF  
— JAPANESE ONMATOPEIA IN  
— JAPANESE NOVEL AND CORES  
— POUNDING ENGLISH TRANSLATI  
— ONS  
— (日本の文学作品におけるオノマト  
— पेと英語との比較研究—  
— The Gender Structure in Byron's Cain  
— (バイロンの「Cain」におけるジェ  
— ンダー構造—)  
GANBARU SANRECCO: A STUDY  
OF  
INTERNATIONAL  
COMMUNICATION IN JAPANESE  
PROFESSIONAL SOCCER TEAM-  
— (がんばれ サンプルレッチェ: 日本  
— のプロサッカーチームにおける国際  
— コミュニケーションの研究—)  
A study of Sexism in Japanese and  
English Proverbs  
(日英 proverb をめぐる男性上位  
— 主義についての一研究—)  
The Knowledge of English Verb  
Inflections in Japanese University

- 小浦美千代

Students  
(第2言語における英語の動詞活用  
形のメカニズムと教育的示唆)  
THE EFFECT OF ENGLISH  
LANGUAGE LEARNING AT  
ELEMENTARY SCHOOLS ON  
CHILDREN'S INTERNATIONAL  
UNDERSTANDING  
(小学校での英語学習が国際理解に  
— 及ぼす影響について—)  
A Study of English Education in  
Singapore with a Special Reference  
to English Vocabulary used in  
English Secondary Textbooks  
(シンガポールの英語教育研究—中等教  
育用英語教科書における用語集分析—)  
Japanese University Students' Use of  
Clarification and Confirmation  
checks in English conversation  
(日本人大学生の英会話における説  
— 明要求と確認要求—)  
中華人民共和国の普通話普及政策  
Problems in Globalization: Culture  
North-South Problem, and Anti-  
Globalization  
(グローバル化の問題点—文化  
— 南北問題—反グローバル化—)  
「The Problem of Women in "Oliver  
— Twist"  
— (オリヴァー・ツイスト)に於  
— ける女性の問題—」  
The /r-/a/ Variation in Australian  
English  
(オーストラリア英語における母音変化)

- 高野亜希子

Students  
(第2言語における英語の動詞活用  
形のメカニズムと教育的示唆)  
THE EFFECT OF ENGLISH  
LANGUAGE LEARNING AT  
ELEMENTARY SCHOOLS ON  
CHILDREN'S INTERNATIONAL  
UNDERSTANDING  
(小学校での英語学習が国際理解に  
— 及ぼす影響について—)  
A Study of English Education in  
Singapore with a Special Reference  
to English Vocabulary used in  
English Secondary Textbooks  
(シンガポールの英語教育研究—中等教  
育用英語教科書における用語集分析—)  
Japanese University Students' Use of  
Clarification and Confirmation  
checks in English conversation  
(日本人大学生の英会話における説  
— 明要求と確認要求—)  
中華人民共和国の普通話普及政策  
Problems in Globalization: Culture  
North-South Problem, and Anti-  
Globalization  
(グローバル化の問題点—文化  
— 南北問題—反グローバル化—)  
「The Problem of Women in "Oliver  
— Twist"  
— (オリヴァー・ツイスト)に於  
— ける女性の問題—」  
The /r-/a/ Variation in Australian  
English  
(オーストラリア英語における母音変化)

- 井上真由美

リナーがどのように描写されたか、また  
表現されているかについての研究  
「A Long Way to Koshin: A Comparative  
Study of Amateurism in Modern  
British Sports, the Modern Olympics  
and Japanese High School Baseball  
(甲子園)の長き道のり—現代イキ  
リススポーツと近代オリンピック、  
そして高校野球におけるアマチュア  
リズムの比較研究—  
Geschichte und Gegenwart der  
Sprechemotivation in Deutschland  
und Japan  
(日本・ドイツにおける外国語学習  
動機)の比較—  
中国広告コピーの修辞学  
— 中国語における親族呼称の社会化につ  
— いて—  
— 日本語との比較を通して—  
— 複合方向補語文における目的語の位  
— 置について—  
The Moon Laughs: The Translation  
Problems in Abe Kobo's Short Text  
(月が笑う—安部公房の掌櫃テクニ  
クにおける翻訳問題—)  
現代まで生み出されるホーモン夫人  
— の「美女と野獣」  
The comparison of Japanese and  
English catch phrases in advertising  
(日本語・英語キャッチフレーズに  
— における比較—  
— 日中間のビジネス交渉について—  
— 「来」のモダリティ機能  
The Multilingual Situation in the  
U.S. and Japan: From the Viewpoint

- 石村朱里

of Language Policy  
(アメリカ合衆国日本における多  
言語状況言語政策の観点から)  
ハンス・カロッサの人間観  
— 「ルーテイン日記」における生死—  
— A COMPARATIVE ANALYSIS OF  
— JAPANESE SUPERIMPOSITION AND  
— DUBBING OF THE WONDERFUL  
— WIZARD OF OZ  
— (オズの魔法使いの日本語字幕と吹  
— 替音の比較分析—  
— A COMPARATIVE STUDY OF  
— JAPANESE ONMATOPEIA IN  
— JAPANESE NOVEL AND CORES  
— POUNDING ENGLISH TRANSLATI  
— ONS  
— (日本の文学作品におけるオノマト  
— पेと英語との比較研究—  
— The Gender Structure in Byron's Cain  
— (バイロンの「Cain」におけるジェ  
— ンダー構造—)  
GANBARU SANRECCO: A STUDY  
OF  
INTERNATIONAL  
COMMUNICATION IN JAPANESE  
PROFESSIONAL SOCCER TEAM-  
— (がんばれ サンプルレッチェ: 日本  
— のプロサッカーチームにおける国際  
— コミュニケーションの研究—)  
A study of Sexism in Japanese and  
English Proverbs  
(日英 proverb をめぐる男性上位  
— 主義についての一研究—)  
The Knowledge of English Verb  
Inflections in Japanese University

- 小松節子

Students  
(第2言語における英語の動詞活用  
形のメカニズムと教育的示唆)  
THE EFFECT OF ENGLISH  
LANGUAGE LEARNING AT  
ELEMENTARY SCHOOLS ON  
CHILDREN'S INTERNATIONAL  
UNDERSTANDING  
(小学校での英語学習が国際理解に  
— 及ぼす影響について—)  
A Study of English Education in  
Singapore with a Special Reference  
to English Vocabulary used in  
English Secondary Textbooks  
(シンガポールの英語教育研究—中等教  
育用英語教科書における用語集分析—)  
Japanese University Students' Use of  
Clarification and Confirmation  
checks in English conversation  
(日本人大学生の英会話における説  
— 明要求と確認要求—)  
中華人民共和国の普通話普及政策  
Problems in Globalization: Culture  
North-South Problem, and Anti-  
Globalization  
(グローバル化の問題点—文化  
— 南北問題—反グローバル化—)  
「The Problem of Women in "Oliver  
— Twist"  
— (オリヴァー・ツイスト)に於  
— ける女性の問題—」  
The /r-/a/ Variation in Australian  
English  
(オーストラリア英語における母音変化)

- 木原知恵子

リナーがどのように描写されたか、また  
表現されているかについての研究  
「A Long Way to Koshin: A Comparative  
Study of Amateurism in Modern  
British Sports, the Modern Olympics  
and Japanese High School Baseball  
(甲子園)の長き道のり—現代イキ  
リススポーツと近代オリンピック、  
そして高校野球におけるアマチュア  
リズムの比較研究—  
Geschichte und Gegenwart der  
Sprechemotivation in Deutschland  
und Japan  
(日本・ドイツにおける外国語学習  
動機)の比較—  
中国広告コピーの修辞学  
— 中国語における親族呼称の社会化につ  
— いて—  
— 日本語との比較を通して—  
— 複合方向補語文における目的語の位  
— 置について—  
The Moon Laughs: The Translation  
Problems in Abe Kobo's Short Text  
(月が笑う—安部公房の掌櫃テクニ  
クにおける翻訳問題—)  
現代まで生み出されるホーモン夫人  
— の「美女と野獣」  
The comparison of Japanese and  
English catch phrases in advertising  
(日本語・英語キャッチフレーズに  
— における比較—  
— 日中間のビジネス交渉について—  
— 「来」のモダリティ機能  
The Multilingual Situation in the  
U.S. and Japan: From the Viewpoint

- 井上香織

of Language Policy  
(アメリカ合衆国日本における多  
言語状況言語政策の観点から)  
ハンス・カロッサの人間観  
— 「ルーテイン日記」における生死—  
— A COMPARATIVE ANALYSIS OF  
— JAPANESE SUPERIMPOSITION AND  
— DUBBING OF THE WONDERFUL  
— WIZARD OF OZ  
— (オズの魔法使いの日本語字幕と吹  
— 替音の比較分析—  
— A COMPARATIVE STUDY OF  
— JAPANESE ONMATOPEIA IN  
— JAPANESE NOVEL AND CORES  
— POUNDING ENGLISH TRANSLATI  
— ONS  
— (日本の文学作品におけるオノマト  
— पेと英語との比較研究—  
— The Gender Structure in Byron's Cain  
— (バイロンの「Cain」におけるジェ  
— ンダー構造—)  
GANBARU SANRECCO: A STUDY  
OF  
INTERNATIONAL  
COMMUNICATION IN JAPANESE  
PROFESSIONAL SOCCER TEAM-  
— (がんばれ サンプルレッチェ: 日本  
— のプロサッカーチームにおける国際  
— コミュニケーションの研究—)  
A study of Sexism in Japanese and  
English Proverbs  
(日英 proverb をめぐる男性上位  
— 主義についての一研究—)  
The Knowledge of English Verb  
Inflections in Japanese University

- 千原 梢

Students  
(第2言語における英語の動詞活用  
形のメカニズムと教育的示唆)  
THE EFFECT OF ENGLISH  
LANGUAGE LEARNING AT  
ELEMENTARY SCHOOLS ON  
CHILDREN'S INTERNATIONAL  
UNDERSTANDING  
(小学校での英語学習が国際理解に  
— 及ぼす影響について—)  
A Study of English Education in  
Singapore with a Special Reference  
to English Vocabulary used in  
English Secondary Textbooks  
(シンガポールの英語教育研究—中等教  
育用英語教科書における用語集分析—)  
Japanese University Students' Use of  
Clarification and Confirmation  
checks in English conversation  
(日本人大学生の英会話における説  
— 明要求と確認要求—)  
中華人民共和国の普通話普及政策  
Problems in Globalization: Culture  
North-South Problem, and Anti-  
Globalization  
(グローバル化の問題点—文化  
— 南北問題—反グローバル化—)  
「The Problem of Women in "Oliver  
— Twist"  
— (オリヴァー・ツイスト)に於  
— ける女性の問題—」  
The /r-/a/ Variation in Australian  
English  
(オーストラリア英語における母音変化)

- 田村 入

リナーがどのように描写されたか、また  
表現されているかについての研究  
「A Long Way to Koshin: A Comparative  
Study of Amateurism in Modern  
British Sports, the Modern Olympics  
and Japanese High School Baseball  
(甲子園)の長き道のり—現代イキ  
リススポーツと近代オリンピック、  
そして高校野球におけるアマチュア  
リズムの比較研究—  
Geschichte und Gegenwart der  
Sprechemotivation in Deutschland  
und Japan  
(日本・ドイツにおける外国語学習  
動機)の比較—  
中国広告コピーの修辞学  
— 中国語における親族呼称の社会化につ  
— いて—  
— 日本語との比較を通して—  
— 複合方向補語文における目的語の位  
— 置について—  
The Moon Laughs: The Translation  
Problems in Abe Kobo's Short Text  
(月が笑う—安部公房の掌櫃テクニ  
クにおける翻訳問題—)  
現代まで生み出されるホーモン夫人  
— の「美女と野獣」  
The comparison of Japanese and  
English catch phrases in advertising  
(日本語・英語キャッチフレーズに  
— における比較—  
— 日中間のビジネス交渉について—  
— 「来」のモダリティ機能  
The Multilingual Situation in the  
U.S. and Japan: From the Viewpoint

- 大林正俊

of Language Policy  
(アメリカ合衆国日本における多  
言語状況言語政策の観点から)  
ハンス・カロッサの人間観  
— 「ルーテイン日記」における生死—  
— A COMPARATIVE ANALYSIS OF  
— JAPANESE SUPERIMPOSITION AND  
— DUBBING OF THE WONDERFUL  
— WIZARD OF OZ  
— (オズの魔法使いの日本語字幕と吹  
— 替音の比較分析—  
— A COMPARATIVE STUDY OF  
— JAPANESE ONMATOPEIA IN  
— JAPANESE NOVEL AND CORES  
— POUNDING ENGLISH TRANSLATI  
— ONS  
— (日本の文学作品におけるオノマト  
— पेと英語との比較研究—  
— The Gender Structure in Byron's Cain  
— (バイロンの「Cain」におけるジェ  
— ンダー構造—)  
GANBARU SANRECCO: A STUDY  
OF  
INTERNATIONAL  
COMMUNICATION IN JAPANESE  
PROFESSIONAL SOCCER TEAM-  
— (がんばれ サンプルレッチェ: 日本  
— のプロサッカーチームにおける国際  
— コミュニケーションの研究—)  
A study of Sexism in Japanese and  
English Proverbs  
(日英 proverb をめぐる男性上位  
— 主義についての一研究—)  
The Knowledge of English Verb  
Inflections in Japanese University

- 田村志乃

Students  
(第2言語における英語の動詞活用  
形のメカニズムと教育的示唆)  
THE EFFECT OF ENGLISH  
LANGUAGE LEARNING AT  
ELEMENTARY SCHOOLS ON  
CHILDREN'S INTERNATIONAL  
UNDERSTANDING  
(小学校での英語学習が国際理解に  
— 及ぼす影響について—)  
A Study of English Education in  
Singapore with a Special Reference  
to English Vocabulary used in  
English Secondary Textbooks  
(シンガポールの英語教育研究—中等教  
育用英語教科書における用語集分析—)  
Japanese University Students' Use of  
Clarification and Confirmation  
checks in English conversation  
(日本人大学生の英会話における説  
— 明要求と確認要求—)  
中華人民共和国の普通話普及政策  
Problems in Globalization: Culture  
North-South Problem, and Anti-  
Globalization  
(グローバル化の問題点—文化  
— 南北問題—反グローバル化—)  
「The Problem of Women in "Oliver  
— Twist"  
— (オリヴァー・ツイスト)に於  
— ける女性の問題—」  
The /r-/a/ Variation in Australian  
English  
(オーストラリア英語における母音変化)

- 西田幸加

リナーがどのように描写されたか、また  
表現されているかについての研究  
「A Long Way to Koshin: A Comparative  
Study of Amateurism in Modern  
British Sports, the Modern Olympics  
and Japanese High School Baseball  
(甲子園)の長き道のり—現代イキ  
リススポーツと近代オリンピック、  
そして高校野球におけるアマチュア  
リズムの比較研究—  
Geschichte und Gegenwart der  
Sprechemotivation in Deutschland  
und Japan  
(日本・ドイツにおける外国語学習  
動機)の比較—  
中国広告コピーの修辞学  
— 中国語における親族呼称の社会化につ  
— いて—  
— 日本語との比較を通して—  
— 複合方向補語文における目的語の位  
— 置について—  
The Moon Laughs: The Translation  
Problems in Abe Kobo's Short Text  
(月が笑う—安部公房の掌櫃テクニ  
クにおける翻訳問題—)  
現代まで生み出されるホーモン夫人  
— の「美女と野獣」  
The comparison of Japanese and  
English catch phrases in advertising  
(日本語・英語キャッチフレーズに  
— における比較—  
— 日中間のビジネス交渉について—  
— 「来」のモダリティ機能  
The Multilingual Situation in the  
U.S. and Japan: From the Viewpoint

- 甲斐瑞穂

of Language Policy  
(アメリカ合衆国日本における多  
言語状況言語政策の観点から)  
ハンス・カロッサの人間観  
— 「ルーテイン日記」における生死—  
— A COMPARATIVE ANALYSIS OF  
— JAPANESE SUPERIMPOSITION AND  
— DUBBING OF THE WONDERFUL  
— WIZARD OF OZ  
— (オズの魔法使いの日本語字幕と吹  
— 替音の比較分析—  
— A COMPARATIVE STUDY OF  
— JAPANESE ONMATOPEIA IN  
— JAPANESE NOVEL AND CORES  
— POUNDING ENGLISH TRANSLATI  
— ONS  
— (日本の文学作品におけるオノマト  
— पेと英語との比較研究—  
— The Gender Structure in Byron's Cain  
— (バイロンの「Cain」におけるジェ  
— ンダー構造—)  
GANBARU SANRECCO: A STUDY  
OF  
INTERNATIONAL  
COMMUNICATION IN JAPANESE  
PROFESSIONAL SOCCER TEAM-  
— (がんばれ サンプルレッチェ: 日本  
— のプロサッカーチームにおける国際  
— コミュニケーションの研究—)  
A study of Sexism in Japanese and  
English Proverbs  
(日英 proverb をめぐる男性上位  
— 主義についての一研究—)  
The Knowledge of English Verb  
Inflections in Japanese University

- 中田 恵

Students  
(第2言語における英語の動詞活用  
形のメカニズムと教育的示唆)  
THE EFFECT OF ENGLISH  
LANGUAGE LEARNING AT  
ELEMENTARY SCHOOLS ON  
CHILDREN'S INTERNATIONAL  
UNDERSTANDING  
(小学校での英語学習が国際理解に  
— 及ぼす影響について—)  
A Study of English Education in  
Singapore with a Special Reference  
to English Vocabulary used in  
English Secondary Textbooks  
(シンガポールの英語教育研究—中等教  
育用英語教科書における用語集分析—)  
Japanese University Students' Use of  
Clarification and Confirmation  
checks in English conversation  
(日本人大学生の英会話における説  
— 明要求と確認要求—)  
中華人民共和国の普通話普及政策  
Problems in Globalization: Culture  
North-South Problem, and Anti-  
Globalization  
(グローバル化の問題点—文化  
— 南北問題—反グローバル化—)  
「The Problem of Women in "Oliver  
— Twist"  
— (オリヴァー・ツイスト)に於  
— ける女性の問題—」  
The /r-/a/ Variation in Australian  
English  
(オーストラリア英語における母音変化)

- 東田知水子

リナーがどのように描写されたか、また  
表現されているかについての研究  
「A Long Way to Koshin: A Comparative  
Study of Amateurism in Modern  
British Sports, the Modern Olympics  
and Japanese High School Baseball  
(甲子園)の長き道のり—現代イキ  
リススポーツと近代オリンピック、  
そして高校野球におけるアマチュア  
リズムの比較研究—  
Geschichte und Gegenwart der  
Sprechemotivation in Deutschland  
und Japan  
(日本・ドイツにおける外国語学習  
動機)の比較—  
中国広告コピーの修辞学  
— 中国語における親族呼称の社会化につ  
— いて—  
— 日本語との比較を通して—  
— 複合方向補語文における目的語の位  
— 置について—  
The Moon Laughs: The Translation  
Problems in Abe Kobo's Short Text  
(月が笑う—安部公房の掌櫃テクニ  
クにおける翻訳問題—)  
現代まで生み出されるホーモン夫人  
— の「美女と野獣」  
The comparison of Japanese and  
English catch phrases in advertising  
(日本語・英語キャッチフレーズに  
— における比較—  
— 日中間のビジネス交渉について—  
— 「来」のモダリティ機能  
The Multilingual Situation in the  
U.S. and Japan: From the Viewpoint

- 川崎裕子

of Language Policy  
(アメリカ合衆国日本における多  
言語状況言語政策の観点から)  
ハンス・カロッサの人間観  
— 「ルーテイン日記」における生死—  
— A COMPARATIVE ANALYSIS OF  
— JAPANESE SUPERIMPOSITION AND  
— DUBBING OF THE WONDERFUL  
— WIZARD OF OZ  
— (オズの魔法使いの日本語字幕と吹  
— 替音の比較分析—  
— A COMPARATIVE STUDY OF  
— JAPANESE ONMATOPEIA IN  
— JAPANESE NOVEL AND CORES  
— POUNDING ENGLISH TRANSLATI  
— ONS  
— (日本の文学作品におけるオノマト  
— पेと英語との比較研究—  
— The Gender Structure in Byron's Cain  
— (バイロンの「Cain」におけるジェ  
— ンダー構造—)  
GANBARU SANRECCO: A STUDY  
OF  
INTERNATIONAL  
COMMUNICATION IN JAPANESE  
PROFESSIONAL SOCCER TEAM-  
— (がんばれ サンプルレッチェ: 日本  
— のプロサッカーチームにおける国際  
— コミュニケーションの研究—)  
A study of Sexism in Japanese and  
English Proverbs  
(日英 proverb をめぐる男性上位  
— 主義についての一研究—)  
The Knowledge of English Verb  
Inflections in Japanese University

- 中務早央里

Students  
(第2言語における英語の動詞活用  
形のメカニズムと教育的示唆)  
THE EFFECT OF ENGLISH  
LANGUAGE LEARNING AT  
ELEMENTARY SCHOOLS ON  
CHILDREN'S INTERNATIONAL  
UNDERSTANDING  
(小学校での英語学習が国際理解に  
— 及ぼす影響について—)  
A Study of English Education in  
Singapore with a Special Reference  
to English Vocabulary used in  
English Secondary Textbooks  
(シンガポールの英語教育研究—中等教  
育用英語教科書における用語集分析—)  
Japanese University Students' Use of  
Clarification and Confirmation  
checks in English conversation  
(日本人大学生の英会話における説  
— 明要求と確認要求—)  
中華人民共和国の普通話普及政策  
Problems in Globalization: Culture  
North-South Problem, and Anti-  
Globalization  
(グローバル化の問題点—文化  
— 南北問題—反グローバル化—)  
「The Problem of Women in "Oliver  
— Twist"  
— (オリヴァー・ツイスト)に於  
— ける女性の問題—」  
The /r-/a/ Variation in Australian  
English  
(オーストラリア英語における母音変化)

## 卒論題目

- 東田知水子  
安武真弓  
荒田孝幸

- 川崎裕子

- 中務早央里



卒論題目

- 平山亜希子  
フランスにおけるカフェ成立の文化的背景  
ミヒヤエル・エンテのファンタジー  
と現代社会
- 榎水奈美子  
Displacement through the Global Spread  
of English  
(英語の拡がりによる言語の消失)
- 松本明子  
An Analysis of Verbal Communication  
Gap between Japanese and Americans  
(日本人とアメリカ人の間の言語コ  
ミュニケーションギャップについて)
- 南 彩香  
Effects of Gender on Japanese and  
American Young Adults' Perceptions  
of Compliments  
(日本人の若者の行動についての認識  
— 性差の影響を中心に —)
- 諸岡香織  
The Mother Tongue Problems of  
Foreign Children in Japan  
(在日外国人児童・生徒の母語問題)
- 秋月康平  
円錐曲線の諸性質とその応用  
Luenzu machiにおける挙動とカオス性  
ラ・フランスの曲にたてに関する数理解析  
反復関数系によるフラクタル図形の研究  
並行プロセスのモデルと動作解析  
カオスニューラルネットワークの動  
的応答特性
- 有馬和彦  
岩谷真一郎  
大田真俊  
岡野亜紀子  
岡本 勝
- 北 いづみ  
沖野邦明  
西村 賢  
浜田啓介  
藤原良浩  
藤本祐一  
古澤英生  
本田保之  
前田明子  
松田敏英  
宮本尚登  
森崇彦  
森國智恵  
山地修平  
齋藤大輔

- anthracia (イネ科、タケ亜科) の  
集団開花現象に関わる遺伝的解析  
公共空間における散乱ごみの発生状況  
と散廃による低減効果に関する研究  
山火事発流領域における土砂流出機  
構の解明
- 地震動の影響を受けやすい地盤およ  
び地域の特性に関する基礎的研究  
森林ボランティア活動における人材  
の確保に関する研究  
竹原、室戸での海水中の環境ホルモ  
ンの海藻類への蓄積  
クロロフェノール類の光分解に関す  
る研究  
土砂移動に対する樹林の緩衝作用に  
関する基礎的研究  
マダラチョウ類の配偶システム制御  
物質に関する研究  
黒瀬川の環境ホルモンの植物への蓄積  
自動車排ガスからのヒドロキシルラ  
ジカルの液相光化学的生成  
マツノマダラカミキリの産卵抑制物質  
2種類のマメ科植物の難溶性リン利  
用について  
天然水試料中のアルデヒドおよびケ  
トンの測定とその動態  
光化学反応による天然水中のヒドロ  
キシルラジカルの定量とその生成に  
関する研究  
コウノトリの野生復帰の場としての  
水田地帯の景観構造の解析
- 井手口陽子  
内分泌攪乱化学物質環境ホルモン  
による副腎皮質ステロイドホルモ  
ン分泌の阻害機構  
視覚新奇刺激に対する探索行動と認  
知情報処理  
脳下垂体ホルモンの放出を制御する  
鳥類の新規視床下部ペプチドの発現  
に関する研究  
刺激の時間的特性がラットの時間知  
覚に及ぼす影響  
オフィスノイズの音圧変動が作業に  
及ぼす影響  
持久性トレーニングによる骨格筋ア  
ミノオキシンの分布の変化  
蛙変態における、線虫異時性突然変  
異原因遺伝子 $unc-51$ の発現について  
光合成光化学系II光阻害剤における $\beta$   
—カロテンの挙動  
認知の構造化が他者とのコミュニケ  
ーションに及ぼす影響  
— 二者関係の初期段階におけ  
る検討 —
- 石見屋佳代  
上野未晚  
江口裕次郎  
大仲慎二  
岡本 敦  
加藤寛人  
金谷繁明  
川上聡子  
四宮朋子  
新垣健太  
近澤庸平  
中尾容子  
中野絵里子

- 三浦真澄  
対する嗜好性について  
エアロジェルヘリウム3を示す伝わ  
る構造に関する理論的研究
- 近藤功一  
ケイロシヨウウツヨウバエ自然集団中  
におけるX染色体上の遺伝的変異の  
解析  
山地流域河川におけるpHおよび溶  
存負荷量の変動機構の解明  
モンゴル高原における蒸発散量の算  
定と季節変化  
中海堆積物の古地磁気と岩石磁気  
についての研究  
遠藤雅也  
池田美和子  
加藤成子  
遠藤康裕  
木戸謙介  
工藤 充  
齊藤悠子  
竹田 慶  
多々野 喬  
種植麻有子  
田中謙太郎  
塚越智子
- 自然環境研究コース  
クオークプロバゲータの数値的研究  
ナノ構造化グラファイトの水素化特  
性に対する添加元素効果  
CH<sub>2</sub>水Acetone系の温度・圧力誘  
起構造転移の研究  
ラット海馬ニューロステロイド合成  
酵素mRNAの定置  
共役官能法による一次元原子鎖の研究  
中国産ニシキギ科植物 *Tripogonum  
vitifolium* の成分研究  
ギフチョウ幼虫の各種カンファオイに  
関する研究
- 井手口陽子  
内分泌攪乱化学物質環境ホルモン  
による副腎皮質ステロイドホルモ  
ン分泌の阻害機構  
視覚新奇刺激に対する探索行動と認  
知情報処理  
脳下垂体ホルモンの放出を制御する  
鳥類の新規視床下部ペプチドの発現  
に関する研究  
刺激の時間的特性がラットの時間知  
覚に及ぼす影響  
オフィスノイズの音圧変動が作業に  
及ぼす影響  
持久性トレーニングによる骨格筋ア  
ミノオキシンの分布の変化  
蛙変態における、線虫異時性突然変  
異原因遺伝子 $unc-51$ の発現について  
光合成光化学系II光阻害剤における $\beta$   
—カロテンの挙動  
認知の構造化が他者とのコミュニケ  
ーションに及ぼす影響  
— 二者関係の初期段階におけ  
る検討 —
- 飯眠中の睡眠構造と自律神経系活  
動の検討  
— 反復聴取が音楽の好みに及ぼす影響  
野球のバッティング動作に関する研究  
プロラクチンの蛙変態抑制作用と甲  
狀腺ホルモン脱ヨード化酵素の関係  
について  
染色体外での自律複製を評価する新  
規実験系を用いた哺乳動物複製起点  
の解析  
対処戦略が対処行動とストレス反応  
に及ぼす影響  
スキナフレドキシニンII (ED1) の  
クラスター保持に重要なアミノ酸残基  
集団間状態がリーダー選出に及ぼす効果  
コミュニケーションツールの利用が  
友人関係に及ぼす影響  
対人関係における一般的 attachment と  
関係特定の attachment の機能的検討  
社会的比較における自我脅威回避方  
略の検討  
— 状況要因と個人要因の影響 —  
— comfort を指標とした睡眠中の注  
意機構の検討  
老齢ラットの遅延非位置合わせ課題  
における学習獲得と作業記憶の検討  
小脳プルキンエ細胞が合成する性ス  
テロイドによる小脳神経回路網構築  
と内分泌攪乱化学物質の影響  
仮眠姿勢が午後の短時間仮眠に及ぼ  
す影響  
恋愛関係における関係性評価が大学  
生の進路決定に及ぼす影響

卒論題目

- 王仙健一  
小橋 憲  
重本真里  
富水裕一  
土居あや  
細田秀雄  
田田和人  
増谷直樹  
水谷平和  
村上健二  
矢野伸治  
由水賢史  
石川貴之  
磯部繁人  
井原大輔  
澤田大樹  
田中俊一郎  
堀内雅史  
松田拓也

- 物質生命科学コース  
クオークプロバゲータの数値的研究  
ナノ構造化グラファイトの水素化特  
性に対する添加元素効果  
CH<sub>2</sub>水Acetone系の温度・圧力誘  
起構造転移の研究  
ラット海馬ニューロステロイド合成  
酵素mRNAの定置  
共役官能法による一次元原子鎖の研究  
中国産ニシキギ科植物 *Tripogonum  
vitifolium* の成分研究  
ギフチョウ幼虫の各種カンファオイに  
関する研究
- 物質生命科学コース  
クオークプロバゲータの数値的研究  
ナノ構造化グラファイトの水素化特  
性に対する添加元素効果  
CH<sub>2</sub>水Acetone系の温度・圧力誘  
起構造転移の研究  
ラット海馬ニューロステロイド合成  
酵素mRNAの定置  
共役官能法による一次元原子鎖の研究  
中国産ニシキギ科植物 *Tripogonum  
vitifolium* の成分研究  
ギフチョウ幼虫の各種カンファオイに  
関する研究

- 三浦真澄  
対する嗜好性について  
エアロジェルヘリウム3を示す伝わ  
る構造に関する理論的研究
- 近藤功一  
ケイロシヨウウツヨウバエ自然集団中  
におけるX染色体上の遺伝的変異の  
解析  
山地流域河川におけるpHおよび溶  
存負荷量の変動機構の解明  
モンゴル高原における蒸発散量の算  
定と季節変化  
中海堆積物の古地磁気と岩石磁気  
についての研究  
遠藤雅也  
池田美和子  
加藤成子  
遠藤康裕  
木戸謙介  
工藤 充  
齊藤悠子  
竹田 慶  
多々野 喬  
種植麻有子  
田中謙太郎  
塚越智子
- 自然環境研究コース  
クオークプロバゲータの数値的研究  
ナノ構造化グラファイトの水素化特  
性に対する添加元素効果  
CH<sub>2</sub>水Acetone系の温度・圧力誘  
起構造転移の研究  
ラット海馬ニューロステロイド合成  
酵素mRNAの定置  
共役官能法による一次元原子鎖の研究  
中国産ニシキギ科植物 *Tripogonum  
vitifolium* の成分研究  
ギフチョウ幼虫の各種カンファオイに  
関する研究
- 物質生命科学コース  
クオークプロバゲータの数値的研究  
ナノ構造化グラファイトの水素化特  
性に対する添加元素効果  
CH<sub>2</sub>水Acetone系の温度・圧力誘  
起構造転移の研究  
ラット海馬ニューロステロイド合成  
酵素mRNAの定置  
共役官能法による一次元原子鎖の研究  
中国産ニシキギ科植物 *Tripogonum  
vitifolium* の成分研究  
ギフチョウ幼虫の各種カンファオイに  
関する研究



# 平成14年度卒業論文題目紹介

## 人間文化コース

- 中俣雄二朗 ヒップホップ研究  
 ―サブカルチャーにおける諸問題―
- 大谷知裕 自動車産業戦国時代とトヨタ映画「リレイ・シユシユのすべて」の分析、いかにして「リアル」はもたらされるのか、
- 川口佳子 ピアスリーのイラストレーションについて―世紀末のグラフィック・アートにおける装飾美学の考察―
- 林 英理 芥川作品における「殉死」について
- 福田真弓 マザーグースのリライトに関する考察
- 本田真子 日本神話の他界について ―スサノヲと(蛇)の国―
- 八幡崎美 チェコのバベツト・アニメーション「シユヴァンクマイエルの映像世界」
- 地域文化コース
- 林 幸男 第二次世界大戦頃の新疆における民族独立運動  
 ―「ソ連」の関与について―
- 秋寄喜多郎 河井継之助の国家構想
- 阿部美恵子 昔話における「エトモ」モチーフ
- 荒井 牧 ドイツのこみ管理システム
- 金光由江 ―汚染管理から資源管理へ―  
 日本におけるエコミュージアムの受容と展開

- 神崎えり子 大型衣料小売チェーン店の立地展開についての考察
- 川崎照文 インターネットを利用した国際理解教育
- 釘宮信之 徴兵制と民衆
- 栗原健太 昭和13年・日中戦争前後を中心として
- 下屋敷聡美 タイ社会と仏教
- 杉田美子 開発における内発的発展の可能性
- イランの政治・社会変動とムスリム女性―1960年代―80年代を中心として
- 平 和絃 現代日本におけるノン・ヘテロセクシユアルへのまなざし
- 西谷明子 日本の娯楽番組における諸問題
- 西田尚子 カトリック奉納画の世界
- 歴史のなごみ並みの保存・活用をめぐる問題点
- 内子、竹原、柄の浦の事例から―
- 近代中国におけるキリスト教と教育
- RE-Thinking Missions の分析を通して―
- 民族文様からみるアイヌの世界
- 周防上関栗屋客船帳の研究
- 一幕末維新期の瀬戸内交易について―
- 歌垣が響く道―日本と中国の比較研究―

## 社会科学コース

- 森山千佳子 資源循環型社会に向けて
- 西原圭介 社会福祉における情報化のあり方
- 梅本珠希 ―その意義と現状の考察―  
 農業振興を通じた中山間地域活性化の可能性
- 大浦裕美子 一鳥根県柿木村を事例として―  
 尾道山手地区の歴史的環境保全と住民生活の関わりについて
- 加藤 恵 地方都市中心市街地の衰退とこれからの視点からとらえる新しい地方都市のあり方、地方都市にとって魅力あるまちづくりとは、
- 上川晶子 インターネットにおける有害情報の法的規制について
- 柴山三友紀 タイ経済におけるアジア通貨危機とタイ自動車産業
- 瀧澤康賢 総合安全保障と大平正芳
- 津留慶幸 中国経済発展の背景と影響、巨大な人口と労働力への影響を中心に、
- 寺垣はるか 青少年犯罪の家族的・地域社会的背景
- 一 大分一家殺傷事件・連続幼女誘拐殺人事件を事例として―
- 地方自治体の環境政策
- 一 北九州エコタウン事業を中心として―
- 中尾純子 ソ連・ユーゴ間対立に関する考察
- 難波隆志 バルカン半島の対立を中心に、
- 橋口綾子 輸入野菜急増の経緯・背景・影響について
- 林 恵美子 柔軟性措置から見た環境政策の国際合意過程
- 一 京都議定書を中心に―
- 原田沙織 戦後ドイツにおける外国人問題の展開

## 卒論題目

## 卒論題目

- 東光一 男性の性別役割分業意識の転換
- 福泉順子 中曽根康弘と日本の安全保障政策
- 古川和芳 一防衛庁長官時代と首相時代を中心として―
- 御堂九剛 児童虐待問題についての一考察
- 山本展子 国際法における人種問題
- 渡邊友紀 一2つの人種と新しい人種の概念―
- 堀部正拓 環境会計を用いた企業の環境保全活動評価
- 外国語コース
- 亀川未来子 ドイツ在住トルコ人の抱える問題
- 澤 朋恵 Min, Woman and Landscape in In our Time 「われらの時代」における男性、女性、そして風景
- 田中真弓 Pourquoi le concubinage? La situation actuelle du couple en France. 「コンキニビナージュ」とう選択―フランスにおけるカップルの現在―
- 尼崎陽子 Millais Re-examined: The Portraits of Women (「メイ再考」女性肖像画(2))
- 井手 遊 Social Network and Social Skills for Developing Intercultural Friendship
- 異文化間の友人関係構築・発展のための対人関係網と対人関係技術

- 上村早紀 The acquisition of English middle verbs by Japanese learners(日本人英語学習者における中間動詞の習得について)
- 金岡聖子 The Acquisition of English Speech Verbs by Japanese Learners 「日本人英語学習者による発話動詞の習得」
- 近藤亜矢 A Historical Analysis of Pearl Harbor, Hiroshima and Their Meanings(パールハーバーとヒロシマの持つ意味の歴史的分析)
- 高崎礼子 フランスの大都市郊外における治安問題と移民問題
- 土井恭子 Funny English-A Study of Foreign Words in Japanese 「日本語における外来語の研究」
- 土井祐子 フランスにおけるヴァカンスの実状とその意義
- 仲村圭太 A Research on Reading and Learning of Kanji in Japanese : Its theory and practice(読みと日本語の漢字学習についての研究そしてその理論と実践)
- 島中一喜 English Language Ability, Handness, and Related Factors (英語能力と利き手、関連要因)
- 比本宗津美 EFFECTS OF SPELLING SEGMENTS ON ENGLISH WORD RECOGNITION IN JAPANESE READERS (日本人読者における英単語認識時のスペリングセグメントの影響)
- 廣田聡美 中国語の聖書―歴史と展開―

- 福井彩 Japanese EFL Learners' Pragmatic Competence in Making Requests 「日本人英語学習者の依頼表現における語用論的研究―認識と産出を中心として―」
- 柳生和安 非現実的の叙法
- 山城理絵 日仏言語感覚の比較研究
- 山中淑恵 一日本語になったフランス語
- 齋藤通子 A STUDY OF COLOR IMAGES SEEN IN ENGLISH IDIOMS AND COLLOCATIONS. (英語の慣用語・連語に見られる色彩イメージの研究)
- 孫 長君 A Study of Metaphors and Similes in the Bible 「聖書における隠喩と直喩の研究」
- 藤原悠司 「こそ、あ」と「這、那」
- 藤岡 靖 約合型不完備ブロック計画のパラメーターの特徴付け
- 佐々木剛志 アフリカツメガエル尾退縮におけるDNA-PKs等の遺伝子のホルモンによる発現制御
- 佐々木剛志 非整数次元フラクタル図形
- 鮫島和美 モバイルエージェントにおける更新方法の研究
- 住村美代子 臨床実験の計画と解析
- 田村幸子 一薬効試験のデータ解析―
- 永山大三郎 高品位環境光を用いたレンダリング手法
- 波多野理子 キリシヤの作図不可能問題
- サポートベクターマシンとカーネル



ロジスティック判別  
画像処理を用いた感性工学の研究  
マルコフ確率場を用いたポットスボットの検出  
カメラ画像を用いた手話認識の高速化に関する研究  
幾何学的弛緩ソルバーに基づいた距離制約充足  
遺伝的アルゴリズムと彩色問題  
フラクタルの研究  
独立成分解析とその画像への応用

物質生命科学コース

中原貴明 弾性体球の振動と粘性効果  
石岡美夏 リン脂質LPC6/水/M<sub>2</sub>系における構造の温度・組成依存性  
太田朱美 液体力学シミュレーションによる分子の核生成誘導期のメカニズム  
岡田聖香 高分子の核生成誘導期のメカニズム  
——信頼できる核生成速度と誘導時間測定方法の確立と誘導期における核生成の直接観察——  
岡村麻利 高分子単結晶3次元モルフォロジーのANZ測定選択的らせん転位の生物活性の研究  
河野 司 アカマツにおけるスチルベン化合物の生物活性の研究  
五味洲絵美 ミリング処理したグラファイトの電気化学特性  
園田陽平 クロイクプロバゲータの数値計算アルゴリズム  
豊嶋雄太 チェノキノイド系分子の合成と電界効果素子への応用

内藤愛雄 放射光を用いた液体シリコンの構造解析  
林 宏明 結合性エストロゲンレセプターの研究  
平野和比古 ギフチョウZD遺伝子の塩基置換の動態  
——個体群の地理的分布と成虫の行動解析——  
居村哲也 アフリカツメガエル幼生肝細胞を用いた甲状腺ホルモン作用の検出系の構築  
壁谷彩代 環境パフォーマンス評価に基づく改善策が企業の環境負荷削減に及ぼす影響  
中神善彰 流動化に及ぼす間隙比と飽和度の影響に関する実験的研究  
今川克也 産業廃棄物最終処分場設置に関する問題の現状と課題・豊栄町事例研究を通して  
岩田充生 花崗岩地域における切土斜面の変形の特徴  
岩水幸樹 モンゴル寒冷乾燥地域におけるTDRコイルプローブによる土壌水分観測  
大城一幸 大気および水圏中における内分泌視乱物質の測定  
河野万里子 広島市における街区公園の生態学的検討  
齋藤光代 瀬戸内海沿岸流域におけるNO<sub>2</sub>-Z負荷量の変動機構の解明  
酒井将義 鳥糞における景観の変化とイノシシの関係

自然環境研究コース

佐藤 匠 誤評に生育する低頻度樹木カツラの更新過程に関する研究  
島本三樹 植物の気孔に対する紫外線の影響  
竹井 務 沿岸の地下水流動系に与える潮汐の影響  
田原康作 広島県養楽寺山におけるアカマツ林土壌の化学組成に関する研究  
土畑いづみ 日本環境規制と産業組織  
——ポーター仮説の検証を中心として——  
西田早織 ISO14001認証取得公共行政機関環境マネジメントシステムの比較分析  
瀧本雄司 山陰中部地域の湖沼および河床堆積物について磁気的性質を用いた堆積環境の研究  
本多由佳 河川水・海水における蛍光特性について  
牧野慎也 海水中過酸化水素の測定及びその発生機構に関する研究  
松井美香 寒冷乾燥地モンゴルにおける蒸発散量の推定  
三浦梨江子 日長条件によるアポプラスト内の糖類の変動  
見水亜希子 ヤシ科植物 *Livistona* の系統地理学的研究  
山崎雄平 開花条件下のアポプラストを流れる物質の量的変動  
山本木綿子 土砂移動現象の発生場における風化花崗岩の物理的特性および構造  
吉竹晋平 硫黄荒原における有機物分解と微生物活性  
三宅彩子 広島県雲南地方の山林火災跡地土壌のVA菌根形成能に関する研究  
前園広子 アカマツ枝におけるマツノサイセン

生体行動科学コース

青木満里 水面下トラウマによるラットの事象関連電位への影響  
青木美和子 アフリカツメガエル幼生尾尾の Type II Iodothyronine 5'-deiodinase 遺伝子の発現制御  
阿部高志 レム睡眠中の急速眼球運動に先行して出現する脳電位活動  
伊早坂智子 ラットの事象関連電位に対するコリン作動性神経の影響  
伊藤電馬 インステップキックの動作解析  
——止まっているボールと動いているボールのキックフォームの違い——  
大杉知裕 鳥類スズメ目における生殖腺刺激ホルモン放出抑制ホルモン遺伝子のクローニングと脳内局在の解析  
大谷 貴重 確認強迫傾向がリアリテモノタリシグに及ぼす影響  
落合麻子 ドメスティック・バイオレンス(DV) 関係の維持・離脱に影響を及ぼす要因の検討  
小尾亜矢 音声に及ぼす低気圧減効果の検討  
加藤みどり スキナフェレドキシニンNADPH還元酵素の発現系の構築  
亀崎史恵 微小注入法により導入された外来性染色体外遺伝因子の細胞内動態と排出機構  
佐々木健信 攻撃性が音楽聴取時のカタルシス効果に及ぼす影響  
佐々木尚人 認知的構造化と願望が疑似科学商品

筑紫由紀子

の評価に及ぼす影響  
ゲノムDNA中に部位特異的に二本鎖切断を誘導することによる微小核形成機構の解析  
映像への関心度が処理資源の配分に及ぼす効果  
野路のバツテイングにおける体幹部の傾きと打球の飛距離との関係  
対人場面における非言語的情報の解釈に関する検討  
不安における認知バイアスの検討  
気分状態がステレオタイプ化に及ぼす影響  
ウナギの心拍動に及ぼす浸透圧の影響  
響・アデノシン及びATPの関与  
一過性心理的ストレスが運動スキルに及ぼす影響  
ステロイドホルモン合成の急性活性化におけるcAMPの役割  
Zn<sup>2+</sup>との結合に影響を及ぼすスキナフェレドキシニンのpK<sub>a</sub>約7.8のアミノ酸残基  
高等植物光合成光化学系II反応中心複合体の単結晶化(文献研究)  
睡眠中の外部刺激に対する反応性について  
睡眠中の音楽刺激が仮眠後の睡眠質に及ぼす影響

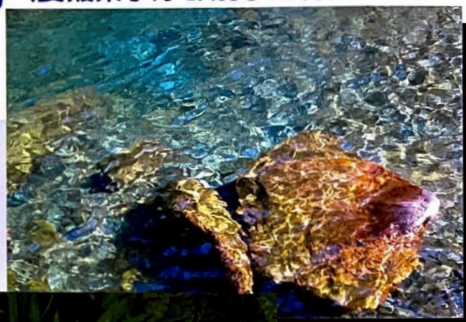


# 実習日記! 写真館

## 別子山実習 (愛媛県宇摩郡別子山村)



織田が浜



別子山中



## 宮島実習 (広島県佐伯郡宮島町)



もみじ谷公園



弥山山頂付近

# 編集後記

### 学生編集委員長

後藤周平 (13生)

今回は当初の予定を大幅に狂わせての発刊となりました。学生編集長になった当初は、計画を立てて編集作業をするということを目指していたのですが、作業を進めているうちに、予定通り仕事をするということの難しさを実感しました。

今号は、コンセプトというものをろくに決めずに作り始めたのですが、先生方と話し合った結果、「読みやすさ」を心がけたつもりなので、気軽に手にとって読んでいただけたら幸いです。

最後の最後までドタバタと、あわただしい編集作業でしたが、終わった今となっては充実感で一杯です。忙しかった分、得るものも多くなりました。

今こうして発刊できるのは、編集委員の先生方や、学生編集員のみなさん、そして事務の川浪さんのおかげです。本当にご苦労様でした。

### 学生編集委員

近藤由紀 (12生)

飛翔歴三年目にして初めて編集後記を書いています。関わったペー

ジ数が今までで一番少ない号なのに、書いてよかったらう?

今回は、いろんな人が、ひとつひとつのページにそれぞれしっかりと「こだわり」を持っていたなあと思えました。記事中のちよっとした表現や漢字一文字の微妙なニュアンスの違いについても、よく言い争った。いえ、議論しましたよね。でもその分、「こだわりの飛翔」ができたのでは?

飛翔発行に関わってくださった全ての方に感謝&一人何役もこなしていたごっこ、本当におつかれさまでした。(倒れないでね)

### 筒井志歩 (14生)

今回が初めての取材でした。得た素材をいかにもうまく料理するかわかすか人の力量にかかっている。活かすも殺すも自分次第なんだなと、しみじみ感じました。また、自分が伝えたいことを正確に読者に伝えることができる力を、少しずつでもいいのでつけることができたらしいなと思いました。最後になりましたが、今回の取材などでお世話になったみなさん、本当にありがとうございました。

### 山本泰子 (14生)

徒々なるままに、日々は走り去ってしまいました。ごめんなさい、

飛翔の皆さん。私は本当になまけものでした。両手一杯の菜の花と干したごをあなたに。

### 教官

鎌田先生 (編集委員長)

学生編集員は強い責任感を持って、よく頑張ってくれました。今号は基本的には従来のスタイルを継承しましたが、次号以降の、更に読者の皆さんに愛される雑誌への変革を目指しています。特に、インターネットを利用した情報収集と配布が鍵になるかと考えています。是非読者の方々の意見をお寄せいただき、良い誌面作りに参加していただきたいと思っています。

### 吉村先生

「マズイもしかしたら」と、伝統ある「飛翔」の危機も今や杞憂、「ア、良かった」の一言。編集員の皆さん、ご苦労様。こんなスリルと編集の醍醐味は滅多にない。是非編集室を覗いてみんさい。

### 戸田先生

ベルギー出張中。

## 編集委員

### 教官

鎌田先生 (編集委員長)

戸田先生

吉村先生

### 学生

後藤周平 (学生編集長)

近藤由紀 (12生)

北岡未紗 (12生)

朝田のぞみ (13生)

山本泰子 (14生)

谷口耕平 (14生)

木村展久 (14生)

穂裕次郎 (14生)

筒井志歩 (14生)

### 職員

川浪晃裕